

《履修上の留意事項》この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

《担当者名》花淵 馨也 hanab@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

食べないことで自らの身体を虐待する拒食症、心の性と身体の性が一致しない性同一性障害、これら「食」と「性」という人間の二つの基本的営みに関わる問題についてとりあげ、わたしたちの身体と社会や文化との関係について医療人類学的な視点から考察する。

【学修目標】

1. 病いや障がいを社会的・文化的に構築される現象として相対的に捉える医療人類学的視点と方法を説明できる。
2. 現代社会における人の生活と病いや障がいとの関係について広い視野から捉える能力を身につける。
3. 医療の基盤となる深い人間理解と、社会の未来を切り拓くための教養を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	講義の目的と内容についての説明	花淵
2	食と身体	食と身体への医療人類学的アプローチ	花淵
3	進化と健康	進化と糖尿病の関係について	花淵
4	拒食症とは	現代社会における拒食症の実態	花淵
5	なぜ女性が多いのか？	グループワーク：拒食症の社会的要因を探る	花淵
6	器としての身体	拒食症の歪んだ身体イメージ	花淵
7	現代社会と女性の身体	病気や健康の社会的・文化的要因	花淵
8	共に食べることの意味	食事が生み出すつながりと孤独	花淵
9	ジェンダーとセクシャリティ	文化としての性の分類と境界	花淵
10	LGBTとは	境界の性の多様性と医療化	花淵
11	第三の性ヒジューラ	異文化におけるトランスジェンダー	花淵
12	残された課題と当事者の声	当事者が生きる性とは？	花淵
13	愛のかたち	LGBTの愛のかたちの多様性	花淵
14	同性婚について	ディベート：同性婚を認める？認めない？	花淵
15	全体のまとめ	講義全体のまとめ	花淵

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

発表30% レポート70%

【教科書】

なし。資料をコピーして配布する。

【参考書】

波平恵美子著『からだの文化人類学』（大修館書店）

浮ヶ谷幸代著『身体と境界の人類学』（春風社）

池田光穂&奥野克己共編『医療人類学のレッスン：病いをめぐる文化を探る』（学陽書房）

磯野真穂『なぜふつうにたべられないのか』（春秋社）

そのほか授業において適宜紹介する。

【学修の準備】

予習：授業で出された課題について調べてくること（80分）

復習：授業の内容をまとめておくこと（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,5